



株主通信 vol.10



モバイル事業



ネットワーク事業



プリペイド決済
サービス事業他

Contents

- 1 株主の皆様へ
- 3 トピックス
- 5 業績ハイライト／経営概況
- 7 モバイル事業
- 9 ネットワーク事業
- 10 プリペイド決済サービス事業他
- 11 第2四半期(累計)財務諸表(要旨)
- 12 株主様アンケート結果のご報告
- 13 会社情報

株主の皆様へ ●●●●●

企業理念

Corporate Philosophy

我々は、社会の夢と豊かさの実現に貢献し、

Tomorrow 「明日」に向かって

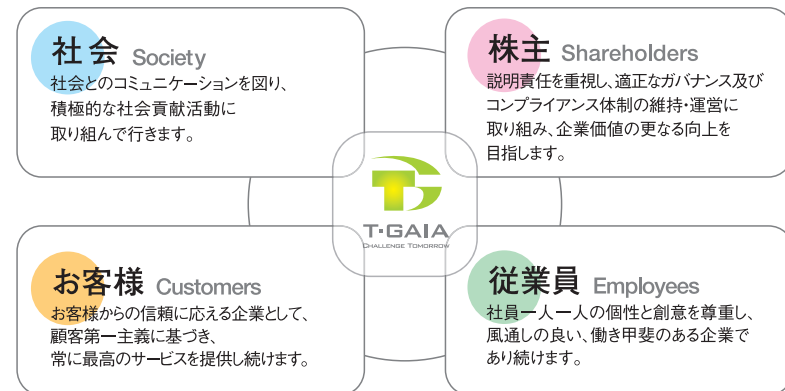
Integrity 「誠実」に

Challenge 「挑戦」し続けます。

行動指針

Conduct Guideline

持続性と透明性の確保を目指し、
様々なステークホルダーを視野に入れつつ、
企業の社会的責任(CSR)を積極的に果たします。



株主の皆様には、ますますご清栄のこととおよろこび申し上げます。早いもので社長に就任して、もうすぐ半年が経とうとしております。今般、新たな経営執行体制となり初めて事業報告をさせていただきます。今上期においては、通信事業者からの手数料体系の見直し等の影響で、当社をはじめとする通信サービスの販売代理店業界は、従来以上に厳しい環境の下、当上期の運営を進めてまいりました。そして、上期の業績は、対前年で増収減益という結果となりました。

しかしながら、「iPhone4」や「エクスペリア」等を中心としてスマートフォンの需要が本格的に立ち上がり、今後年度末にかけて各通信事業者、端末メーカーから続々と新しいスマートフォンが市場に投入され、携帯電話の流通市場が活性化するものと思われます。また、iPadに続き、タブレット型のPCも増え、ポケットWiFiや宅内での光回線への需要も広がりを見せると考えられます。

当社は、あらゆる通信事業者が提供する携帯端末及び、固定ネットワークサービスを総合的に取り扱う代理店として、

スマートフォンのような高性能の端末と各種のネットワークを組み合わせ、利用者の方々から希望されるコンテンツやアプリケーションをより快適に利用して頂けるように、これまで以上に店頭での販売品質やCS(顧客満足度)の向上に努め、これらの新たな需要を最大限取り込んでいきたいと思っております。

一方、新たな取り組みとして、中国上海市に初の海外拠点を開設し、中国の通信事業者である聯通(チャイナユニコム)のキャリアショップ1店舗の運営を上海で開始いたしました。世界の工場から世界の消費大国となった中国は、携帯電話市場でも第二世代から第三世代への移行期であると共に、モバイルインターネット需要の更なる拡大期でもあり、この新興市場を積極的に開拓することで、更なる成長を目指してまいります。

今後も役職員一体となり、一層力を尽くしていく所存ですので、引き続きご支援の程を宜しくお願い申し上げます。

平成22年12月

代表取締役社長執行役員 木村政昭

配当について

業績の進展状況に応じて、将来の事業展開と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しながら、配当性向30%以上を目途として安定配当を継続

平成23年3月期
中間配当金 1株当たり **2,750円**